

令和8年度 道徳教育 全体計画

| | | | | |
|----------|----|--------------|------|------------|
| 学校 番号 | 39 | 佐久平総合技術 高等学校 | 全 課程 | 農業 工業 科 |
|----------|----|--------------|------|------------|

| 学校教育目標 |
|--|
| (1) 豊かな教養と幅広い知識を養い、確かな技術と学力を育む。 (2) 健やかな身体と豊かな情操を培う。 (3) 社会の発展に貢献できる創造力と実践力を培う。 (4) 地域の環境を守り育てる心を養う |
| 重点目標 |
| <small>1. 入試対策 「環境」「技術」「キャリア」を柱とする実践的な教育をとおして、「創造力」「技術力」「人間力」を培い、多面的な資質と実践的な職業能力を備えた人づくりを推進する。 2. 学校づくり 三学科が連携・協働し、互いに切磋琢磨し、知・徳・体のバランスのとれた教育をとおして、生徒一人ひとりが明るく楽しく安心して学べる学校づくりを推進する。 3. 地域づくり 生徒・保護者・地域との共感を深め、地域を支える人づくり・地域を共につくる学校づくりをとおして、持続可能な佐久平の未来創生につながる地域づくりに貢献する。</small> |

| 道徳教育の重点目標 |
|--|
| 1 家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣を確立し、モラルの育成と集団生活でのルールやマナーを身につけさせる。 2 人間としての尊厳を重んじ、他者を理解しようとする心や思いやる気持ち、及び人権尊重の精神を育み、人との関係を大切に築き上げるためのコミュニケーション能力の向上を図る。 (リスペクトウィークで特に集中して取り組む) 3 地域社会に積極的に参加して貢献しようとする、自立した社会人としての誇りと責任を持たせ、その土台となる教養や態度を育成する。 |

| 学年 | 目標 | キャリア教育 | ホームルーム活動 | 生徒会活動・部活動等 | 各教科 | |
|----|--|---|--|---|-----------|---|
| | | | | | 国語 | 地理歴史 |
| 1年 | ○新しい集団の中で公共心や人間関係、相手を思いやる心を学ぶ。 | ○高校生として必要なマナーやルールを理解する。 ○専門に関する基礎を身につけ、2年次からのコースについて適切に選択できるようにする。 | ○仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ・SNSの正しい利用法について ・人権学習（いじめのない学校生活のために） | ○自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ・部活動における望ましい人間関係の在り方について ・文化祭における協働作業 | 国語 | 言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。 |
| | | | | | 地理歴史 | 世界各地の人々の習慣や歩んできた歴史の追求、理解することを通して地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする力を育む。 |
| 2年 | ○集団生活のルール、マナーの向上・定着をはかる。 ○実習等を通して自分の特性を活かし、自分を活かせる場を探す。 | ○インターンシップを通して、社会人・産業人としての自覚を促す。 ○地域交流や地域貢献活動をおこなって、地域の方と触れ合う中で社会性を身に付ける。 | ○校内の諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ・平和学習等（修学旅行事前学習） ・人権学習（多文化共生社会の実現に向けて） | ○校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ・部活動で行われる諸活動 ・文化祭 ・生徒会の運営 | 公民 | 社会との関わりを意識して課題を探究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。 |
| | | | | | 数学 | 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。 |
| 3年 | ○社会に通用するマナー、ルール、協調性を身につけて、自分の特性を活かして、全ての人が尊重される社会の実現のために努力しようとする態度を涵養する。 | ○明確な進路意識の形成と合わせて社会に通用するマナーやルールを身につける。 ○自らを見つめ、適性や能力を判断しながら課題を解決し、希望する進路実現を目指す。 | ○社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的、意欲的に解決していく態度を養う。 ・高校卒業後の在り方について ・人権学習（社会生活の中の権利と責任） | ○本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、全ての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ・生徒会の運営 ・文化祭の運営 ・ボランティア活動 | 理科 | 自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。 |
| | | | | | 保健体育 | 体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。 |
| | | | | | 芸術 | 芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 |
| | | | | | 外国語 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いて主体的に相互理解を図ろうとする態度を養う。 |
| | | | | | 家庭 | 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。 |
| | | | | | 情報 | |
| | | | | | 総合的な探究の時間 | 探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。 |
| | | | | | 専門科 | 実践的・体験的な実習等を通じて、お互いに尊重する関係を築く。 |

| | |
|-----------|---|
| 家庭・地域との連携 | ○PTA総会・学年PTA等を通じ、学校・学年の重点目標や道徳教育全体計画について保護者の理解と協力を得る。 ○学年(学級)通信、授業公開やPTA活動を通じ、生徒達の活躍を伝え生徒達の現状を理解してもらう中で、保護者との連携を深めながら基本的な生活習慣の確立と自律を促す。 ○ホームページを通じて、近隣の方々の理解を得て、地域と連携した教育の基盤をつくる。 |
|-----------|---|